

令和元年度 決算報告

問 財政課
☎ 内線 216・219

その他 4億1,639万円

議会費	1億3,800万円
労働費	2,090万円
農林水産業費	8,724万円
商工費	1億4,071万円
その他（災害復旧費など）	2,954万円

消防費 4億4,938万円

【主な事業】

消防専用無線維持管理事業	1,642万円
消防団運営事業	1,316万円

公債費 6億3,771万円

借りたお金の返済	6億3,771万円
----------	-----------

教育費 8億4,227万円

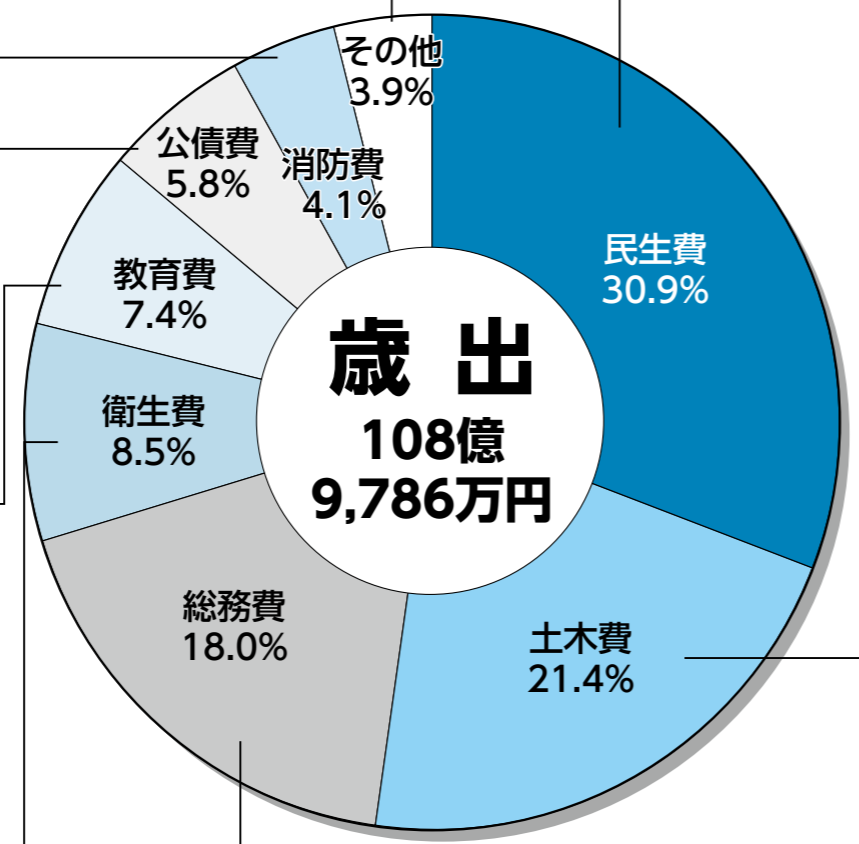
【主な事業】

支援教育推進事業	2,998万円
大磯町立小中学校空調設備借上事業	2,313万円
教育研究所整備事業	1,507万円
幼稚園施設整備事業	2,562万円
文化財保護事業	538万円
図書館資料整備事業	982万円
旧吉田茂邸運営事務事業	859万円
スポーツ健康イベント事業（チャレンジフェスタ、チャレンジデー）	112万円

衛生費 9億2,846万円

【主な事業】

母子保健事業	575万円
救急医療事業	1,569万円
予防接種事業	7,257万円
健康増進事業	348万円
再生エネルギー等推進事業	105万円
ごみ処理広域化運営事業	8,967万円
リサイクルセンター運営事務事業	1億5,164万円
し尿処理施設維持整備事業	2,992万円



総務費 19億5,932万円

【主な事業】

国際・姉妹都市交流事業	118万円
プレミアム付商品券発行事業	4,600万円
広報運営事務事業	1,469万円
町村情報システム共同運営事業	7,128万円
地域会館整備事業	4,111万円
防災行政無線整備事業	1,962万円

民生費 33億6,339万円

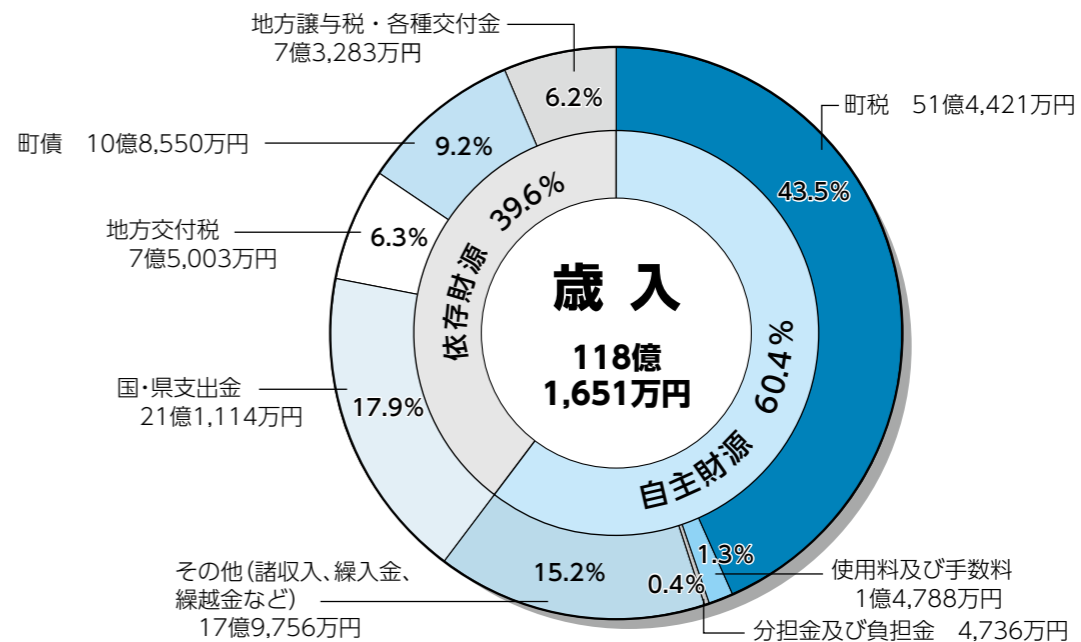
【主な事業】

障害者医療費助成事業	1億6,547万円
自立支援給付事業	4億9,264万円
地域生活支援等事業	4,373万円
小児医療費助成事業	7,266万円
子育て・親育ち支援事業	862万円
子ども・子育て支援新制度運営事業	4億9,444万円
(仮称) 東部子育て支援センター整備事業	2,486万円

土木費 23億3,894万円

【主な事業】

橋りょう長寿命化修繕事業	4,207万円
狹あい道路整備事業	3,277万円
国府本郷西小磯1号線整備事業	6,113万円
都市交通推進事業	2,122万円
歴史的建造物等整備事業	1,071万円
運動公園維持管理事業	2,161万円
明治記念大磯邸園整備事業	11億8,034万円
ポートハウスてらがさき管理運営事業	1,735万円
大磯港みなとオアシス推進事業	8,030万円



●歳出
令和元年度の歳出決算額は、108億9,786万円であり、前年度と比べ16億2,459万円の増加となりました。主な要因としては、下水道事業特別会計などへの繰出しの減少により繰出金が減ったこと、普通建設事業費が明治記念大磯邸園、(仮称)茶屋町会館(仮称)東部子育て支援センター、西久保地区休憩施設、大磯港賑わい交流施設、教育研究所の整備や防災行政無線補完システムの導入などに係る事業費の増加により増となりました。また、物件費は、町立小中学校への空調設備の設置などにより増、維持補修費は台風や大雨の影響による災害復旧費の増加などにより増、扶助費は、幼児教育・保育の無償化に伴う施設等利用給付費などにより増、補助費等についても、プレミアム付商品券発行事業に伴う交付金の増加などにより増となっています。

町では、総合計画後期基本計画の着実な推進と継続した取り組みを踏まえて事業を実施しました。

今後も身の丈に合った行政サービスを維持し、安定した財政運営を行ってまいります。

●歳入
令和元年度の歳入決算額は、118億1,651万円であり、前年度と比べ18億7,427万円の増加となりました。町の収入の根幹となる町税については、51億4,421万円であり、前年度より1億694万円の増となりました。主な要因としては、固定資産税の増などによるものです。また、国庫支出金については、プレミアム付商品券事業補助金や明治記念大磯邸園整備事業に伴う交付金の増加などにより増となりました。一方で、地方消費税交付金は、個人消費の伸び悩みなどにより減、分担金及び負担金についても、幼児教育・保育の無償化に伴う保育園負担金の減少などにより減となりました。

今後、人口減少や少子高齢化などの影響を受け、町税の減少が予想されるため、自主財源の確保を図るだけでなく、活用できる国庫支出金や県支出金などの依存財源についても最大限に確保してまいります。

